# 当社事業のご説明

2019年6月26日

日本ライフライン株式会社

# 本日の内容

Japan Lifeline

## 1．事業概要

代表取締役副社長　鈴木 厚宏

## 2．部門別の中期見通し

| | | |
|---|---|---|
| ①リズムディバイス | 取締役CRM事業本部長 | 渡辺 修 |
| ②EP/アブレーション | 取締役EP事業本部長 | 野上 和彦 |
| ③外科関連 | 取締役CV事業本部長 | 髙宮 徹 |
| ④インターベンション | 〃 | |
| ⑤開発生産部門 | 取締役開発生産本部長 | 山田 健二 |

## 3．中期計画

代表取締役副社長　鈴木 厚宏

## 4．質疑応答

# 1. 事業概要

代表取締役副社長
鈴木 厚宏

# 事業領域

## 不整脈治療

### リズムディバイス

・心臓ペースメーカ
・ICD
・CRT-D
・AED

### EP/アブレーション

・EPカテーテル
・アブレーションカテーテル
・高周波心房中隔穿刺心針
・食道温モニタリングカテーテル

## 心臓血管外科治療

（大動脈瘤・心臓弁膜症）

### 外科関連

・人工血管
・オープンステントグラフト
・ステントグラフト
・人工心臓弁・弁輪

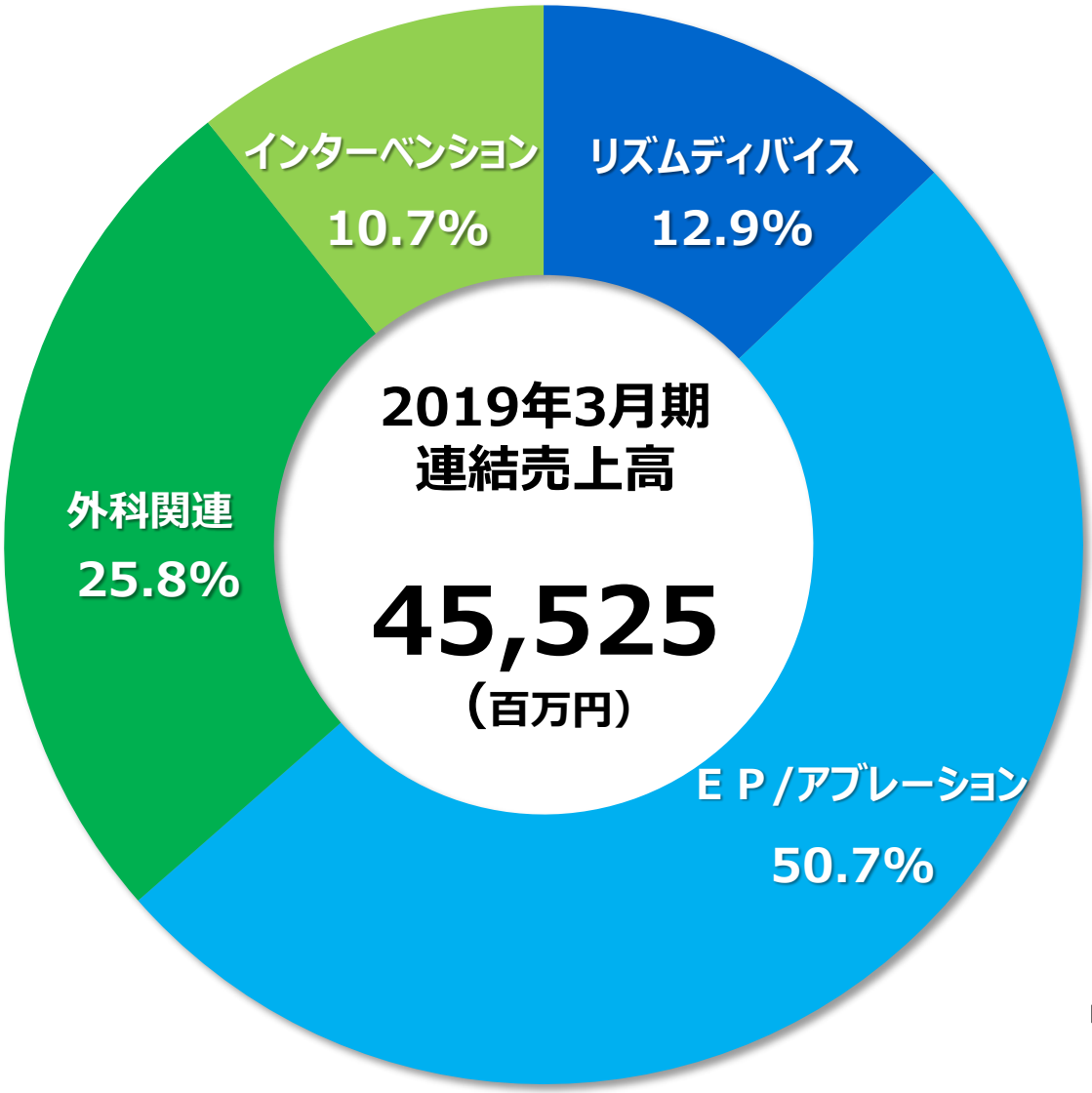
## 虚血性心疾患治療

（心筋梗塞・狭心症）

### インターベンション

・ガイドワイヤー
・バルーンカテーテル
・冠動脈用ステント
・心房中隔欠損閉鎖器具

# 売上構成 ’19/3期



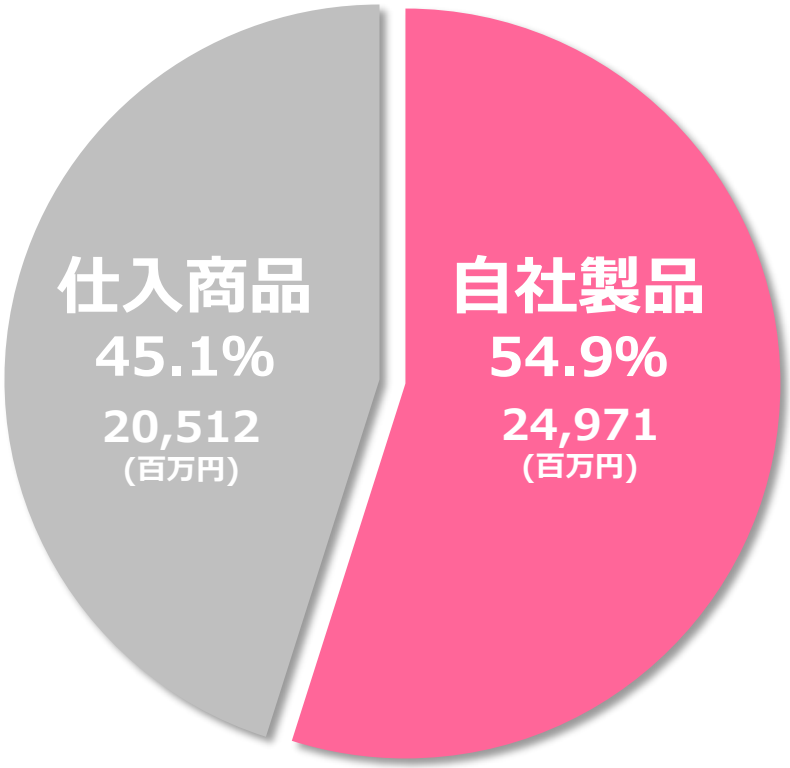

前期比

+7.6%

# 自社製品の売上構成（単体）

Japan Lifeline

## ’19/3期 売上構成




## 主な自社製品

**EP/アブレーション**

- EPカテーテル
- アブレーションカテーテル
- 心腔内除細動カテーテル
- 食道温モニタリングカテーテル

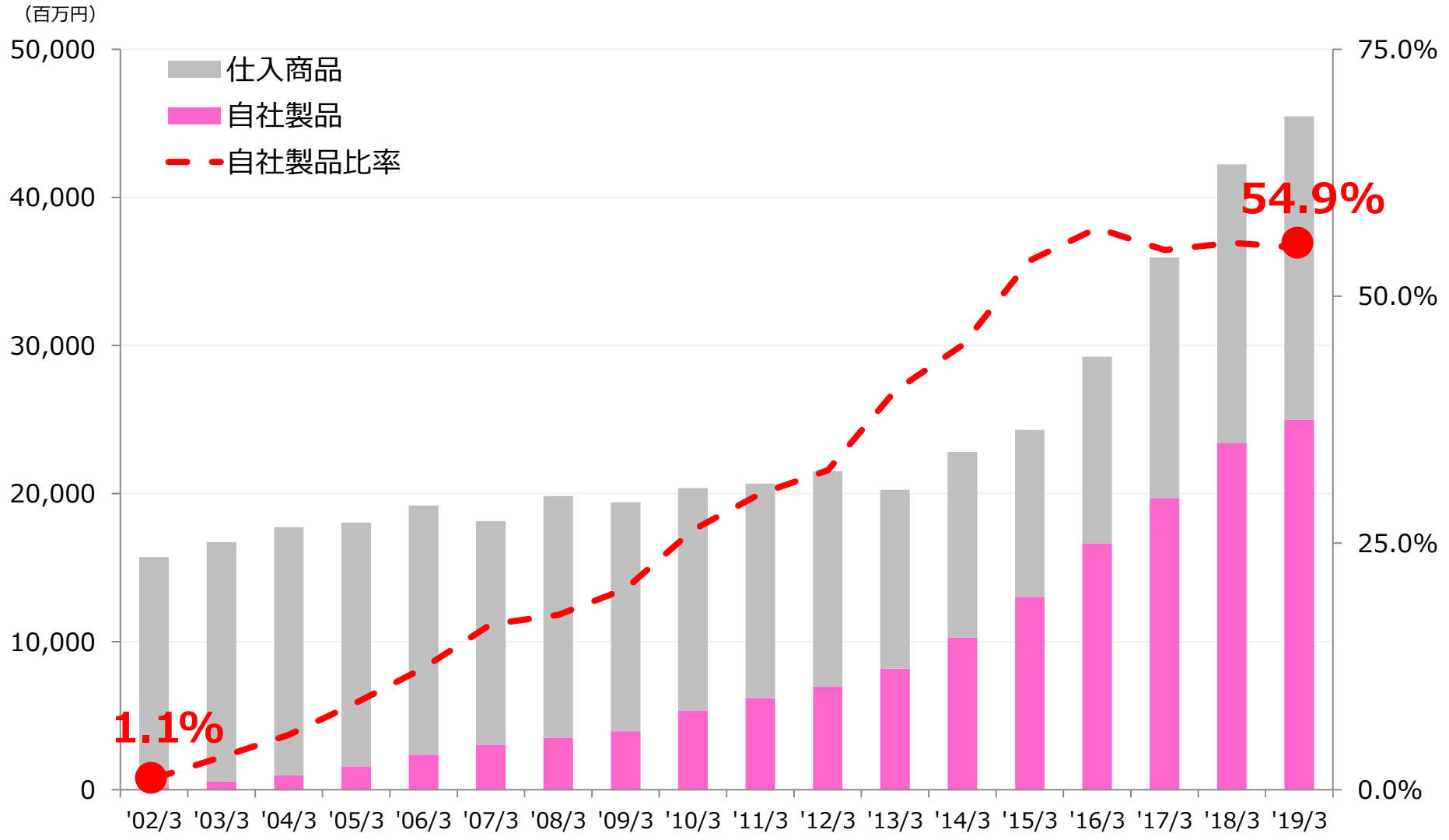
**外科関連**

- 人工血管
- オープンステントグラフト

**インターベンション**

- ガイドワイヤー
- バルーンカテーテル

# 自社製品の売上高推移 (単体)




**仕入商品の増加により自社製品比率は横ばいに**

# 営業拠点

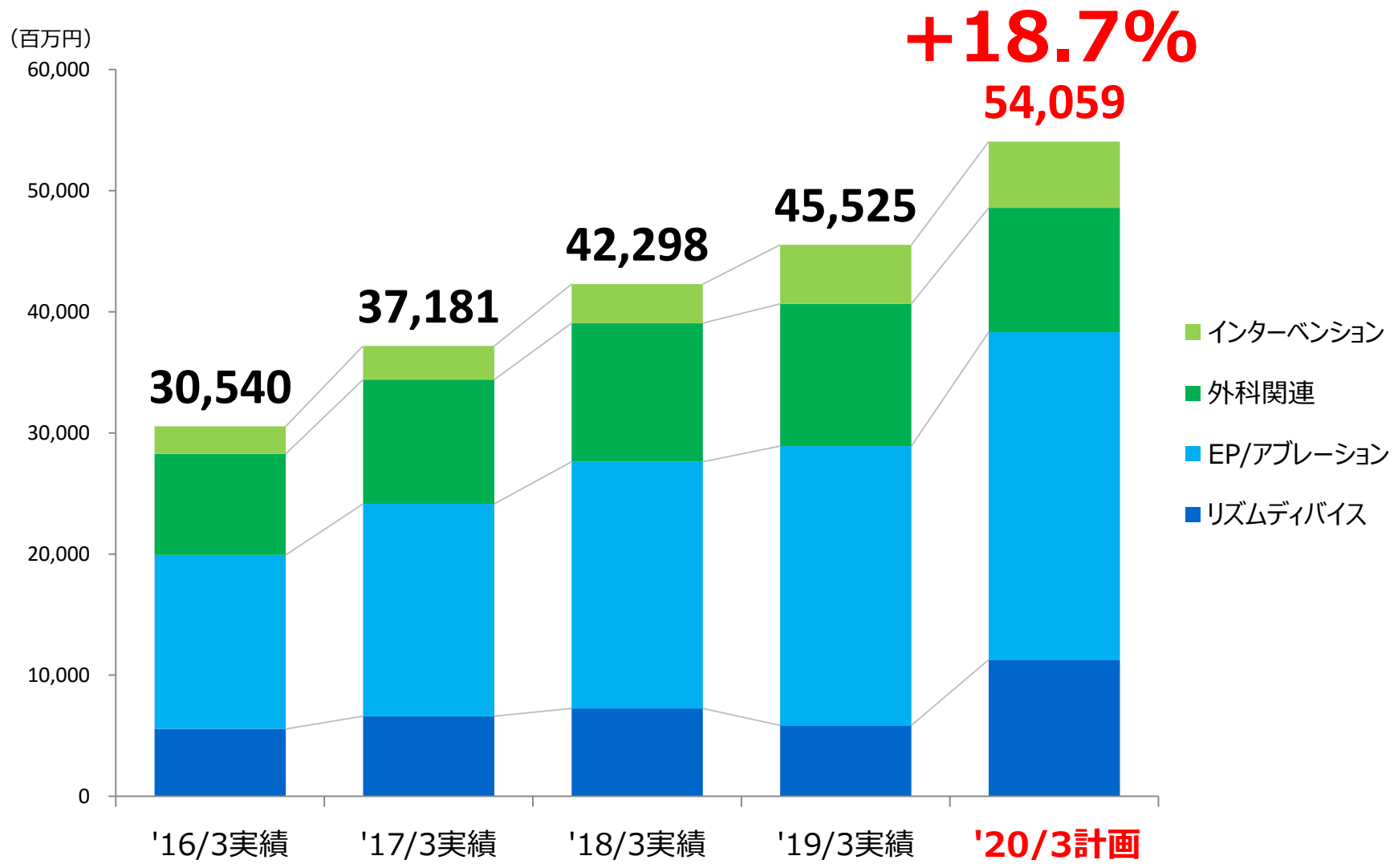
Japan Lifeline

2019/4現在

**47** 拠点

**きめ細かい営業活動を展開**

# ’20/3期計画 連結売上高

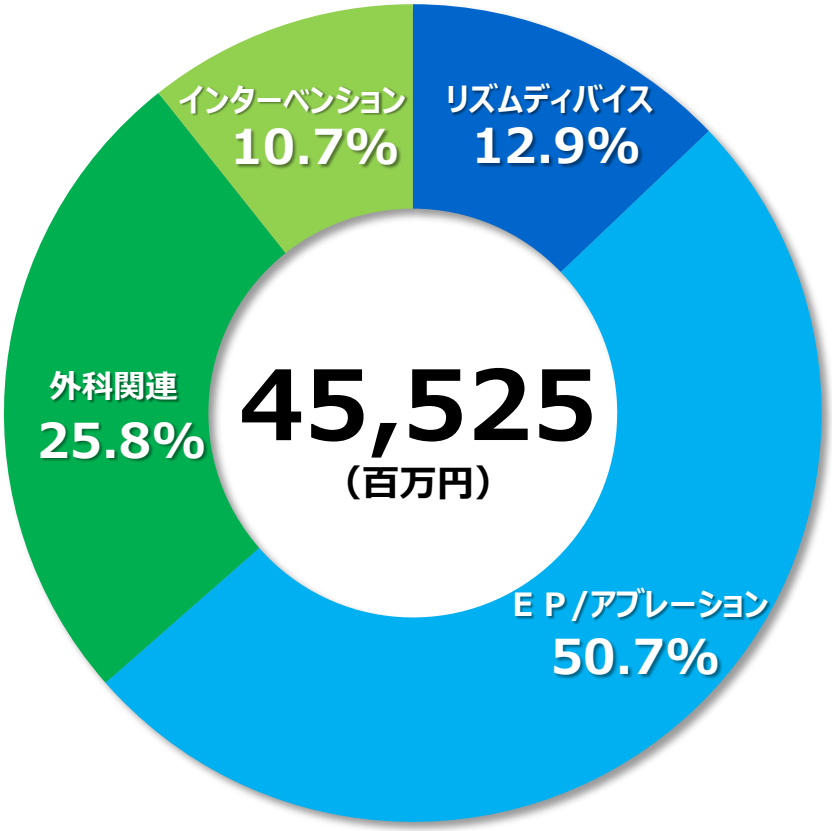



## ’20/3期も引き続き高い成長を見込む

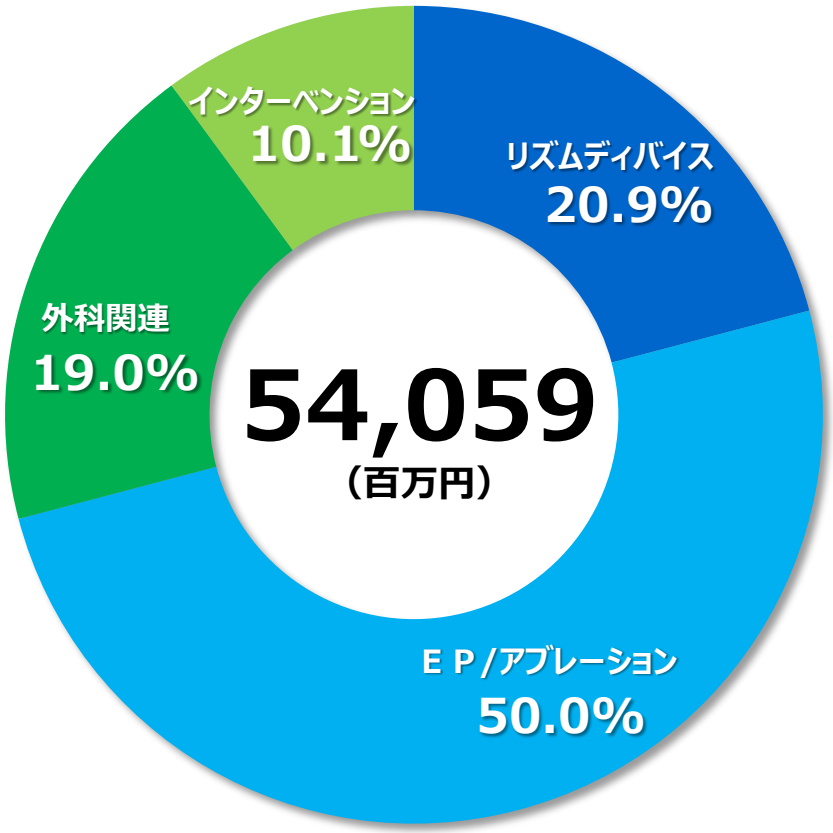
# '19/3期実績 '20/3期計画比較

Japan Lifeline

## 2019年3月期 連結売上高




## 2020年3月期 連結売上高




**リズムディバイスの寄与が高まる**

# 事業分野別 主な取り組み

## リズムディバイス

- BSC社*製品へ切替え、大きな転換期を迎える

## EP/アブレーション

- AF*症例が引続き増加、関連商品も伸長へ

## 外科関連

- 人工弁ビジネスを終了し、大動脈治療領域に集中

## インターベンション

- 薬剤溶出型冠動脈ステントは一定のシェアを獲得、新領域へ参入

## 開発生産部門

- 中長期を見据えた投資と国産メーカーとしての取り組み

*BSC社: ボストン・サイエンティフィック社　*AF: Atrial Fibrillation（心房細動）

# 2. 事業別の中期見通し

# ① リズムディバイス

取締役CRM事業本部長
渡辺　修

# リズムディバイス　中期見通し

1. BSC社製品によりCRM*事業の規模拡大を図る

2. 優れた頻脈治療の製品群により迅速なシェア獲得を目指す

*CRM: Cardiac Rhythm Management (心調律管理)

# リズムディバイス　独占販売契約の締結

Japan Lifeline

## CRM関連製品に関する独占販売契約締結

契　　約　　先：ボストン・サイエンティフィック ジャパン社 (BSJ社)

契 約 締 結 日：2018/11/2

対 象 商 品：BSC社のCRM関連製品

販 売 形 態：日本国内における独占販売

契 約 期 間：2019/9/1から10年間 (以後2年毎の自動更新)

契　　約　　金：30億円

## ワンブランドでの販売体制を構築

– 販売支援金の支払い

– 2019/9/1からBSJ社の全CRM営業人員が当社に出向

## 長期にわたるパートナーシップを構築

# リズムディバイス　BSC社とは

Japan Lifeline

Boston Scientific

- 1979年に米国で誕生、本社をマサチューセッツ州に置く
- グローバルでおよそ29,000名の従業員
- 13カ所の製造拠点を持つ
- 125カ国のマーケットで確固たる地位を築く
- 事業領域は多岐にわたり、取り扱い製品は13,000種を超える

Japan Lifeline

# 世界最大級の医療機器メーカー

| 順位 | 企業名 | 売上高($B) |
|---|---|---|
| 1 | Medtronic | 29.6 |
| 2 | Johnson & Johnson | 26.2 |
| 3 | Fresenius | 21.7 |
| 4 | GE | 18.8 |
| 5 | Philips | 17.1 |
| 6 | Siemens | 16.6 |
| 7 | Cardinal Health | 14.0 |
| 8 | Abbot | 12.3 |
| 9 | Stryker | 12.1 |
| 10 | Becton, Dickinson | 12.1 |

| 順位 | 企業名 | 売上高($B) |
|---|---|---|
| 11 | Baxter | 10.4 |
| 12 | Boston Scientific | 8.8 |
| 13 | Essilor | 8.5 |
| 14 | Zimmer Biomet | 7.8 |
| 15 | Novartis | 5.9 |
| 16 | 3M | 5.7 |
| 17 | オリンパス | 5.2 |
| 18 | テルモ | 4.9 |
| 19 | Smith & Nephew | 4.7 |
| 20 | キヤノン | 3.9 |

出所: 経済産業省 参考資料 (我が国医療機器産業について)

# リズムディバイス　BSJ社との協業

Boston Scientific

・強力な製品ラインナップ

・知識・技術ともに高レベルな営業人員

・グローバル企業としての研究開発力

製品力

×

Japan Lifeline

・不整脈治療領域の豊富な経験

・全国を網羅する営業ネットワーク

・専門知識を持つ営業人員 242名*

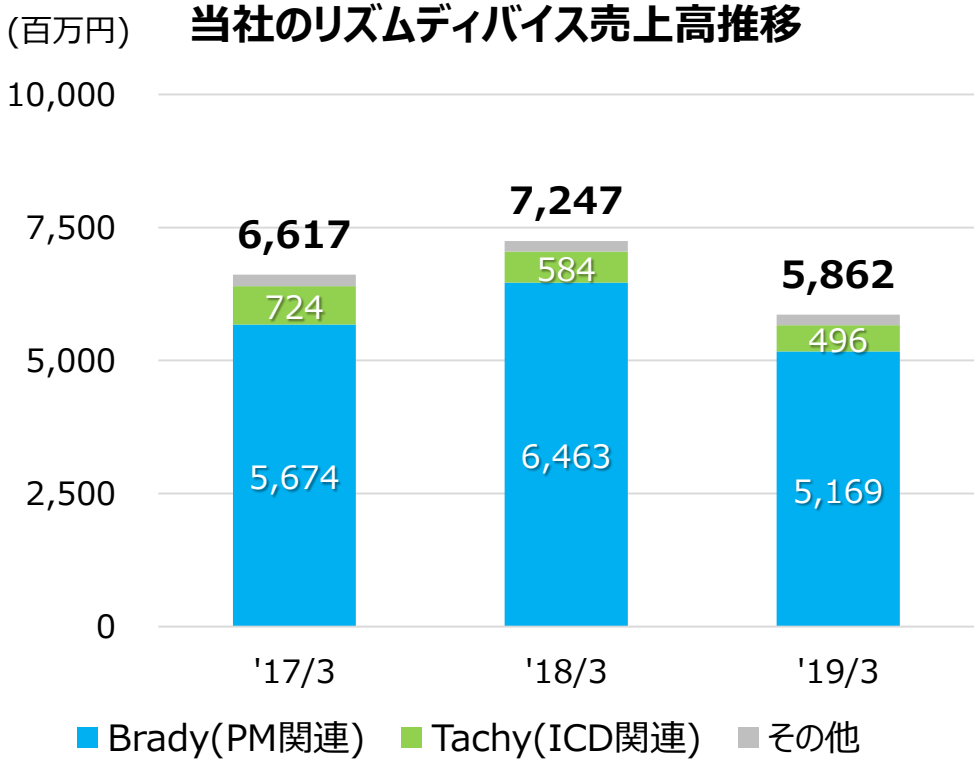
販売力

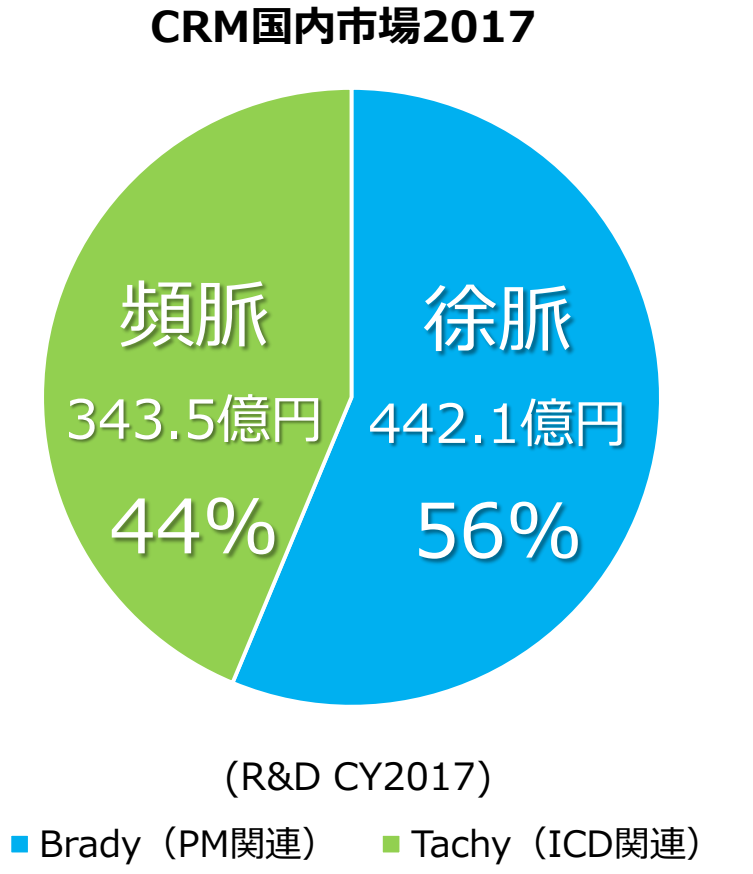
## 最強の販売チームへ

*2019/4/1 現在

# リズムディバイス　CRM市場

- 従来当社のリズムディバイスの売上高は徐脈治療が中心
- CRM国内市場において頻脈治療の構成比は高い



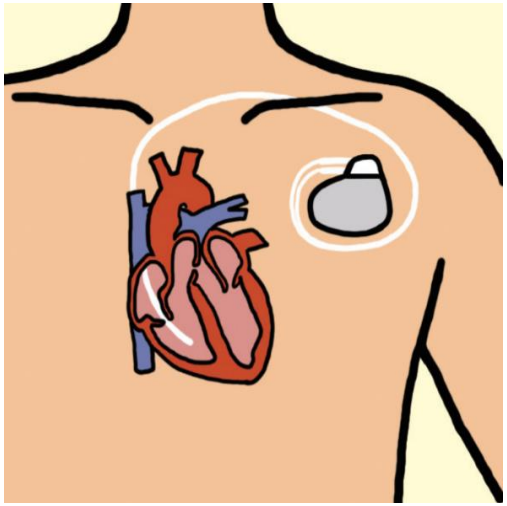




※ Brady/Tachyリードを含む

# 完全皮下植込み型除細動器S-ICD先行販売

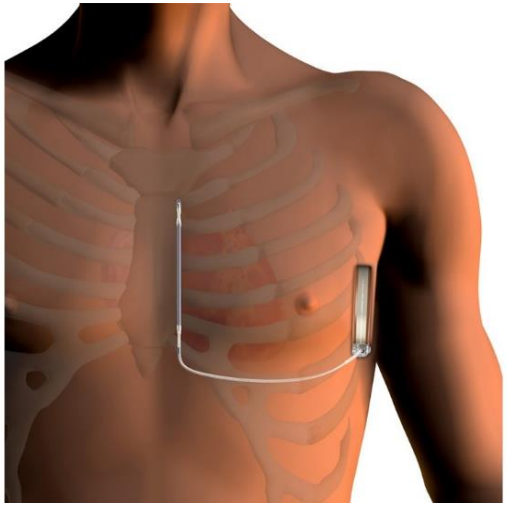
- **オンリーワン商品**「EMBLEM MRI S-ICD」
- 2019/4から販売経験を重ね、9月からの本格販売へ
  - リードに伴う合併症を大幅に抑制

**従来のICD 植込みイメージ**



経静脈的に植込む (心腔内にリードを留置)

**S-ICD 植込みイメージ**



完全皮下植込み (心臓血管系に触れない)

**「EMBLEM MRI S-ICD システム」**

## 高い製品力で頻脈治療領域を早期に開拓

# 今後大幅なマーケットシェア獲得を目指す

Japan Lifeline

# ② EP/アブレーション

取締役EP事業本部長
野上　和彦

# EP/ABL　中期見通し

1. AF*のアブレーション症例数は引き続き二桁増加を見込む

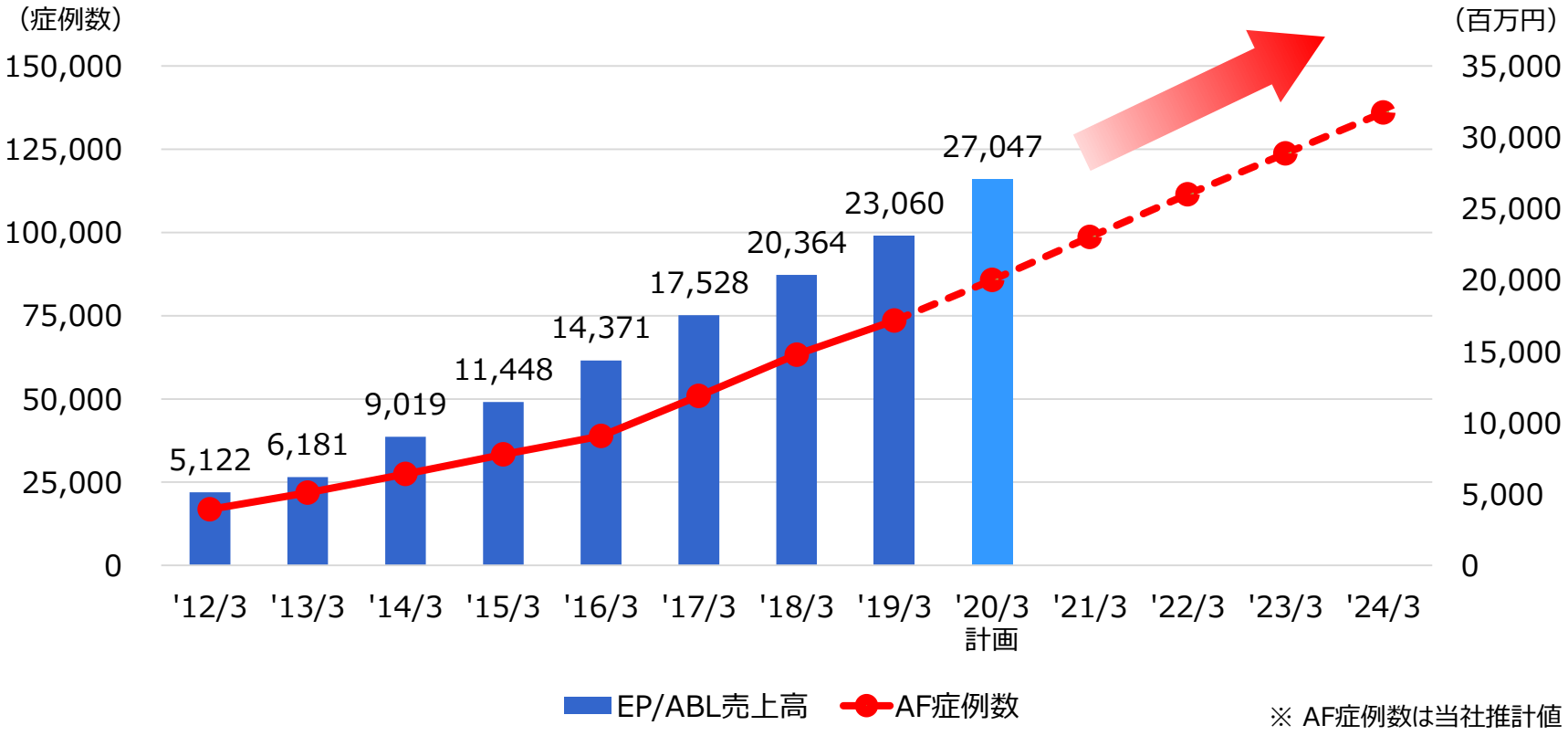
2. 内視鏡レーザーアブレーションカテーテルの普及を図る

3. 自社製品の継続的開発と改良・拡充に取り組む

*AF: Atrial Fibrillation（心房細動）

# EP/ABL　AFアブレーションの症例数予測

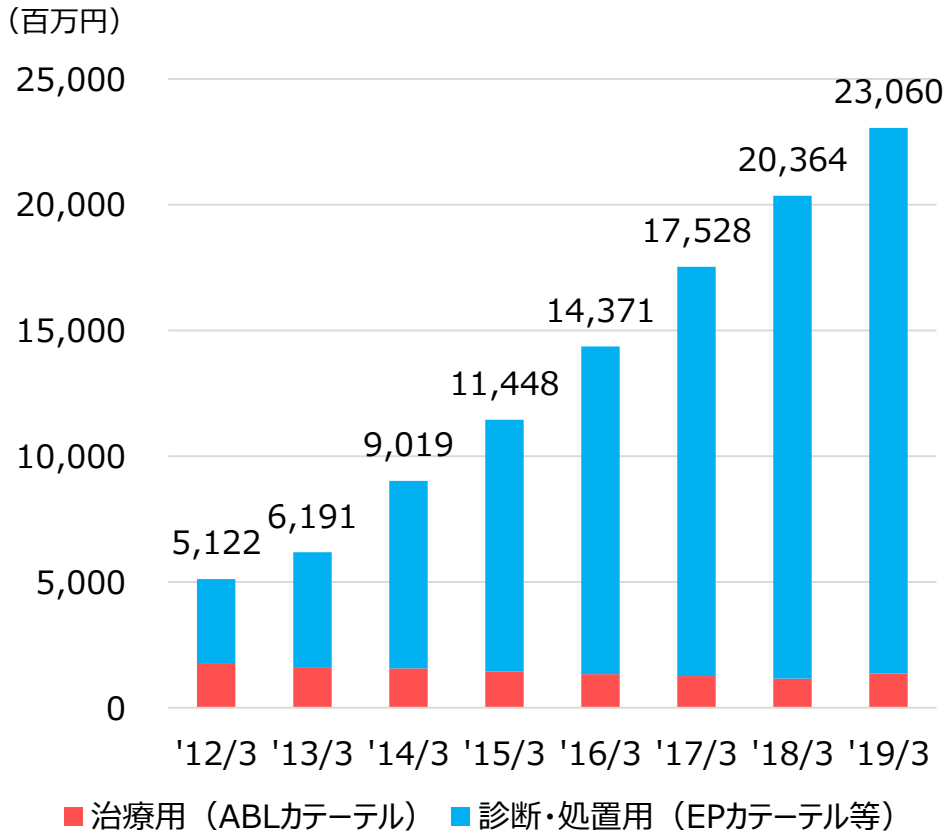
- AF症例数は二桁増が継続、2024/3期には13万例を超えると予想
- 評価が高い診断用商品のほか、今後は治療用商品の寄与も見込む

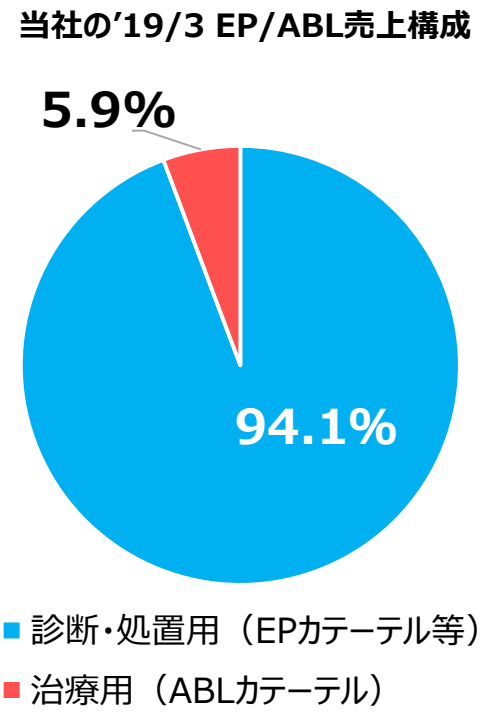



※ AF症例数は当社推計値

# EP/ABL　用途別売上構成

## 当社のEP/ABL全体に占める治療用商品は5.9%に留まる（'19/3実績）




## 治療用商品を強化する

※ 診断・処置用には心腔内除細動カテーテル、食道温モニタリングカテーテル、高周波心房中隔穿刺針等を含む

## さらなる成長を目指し治療用商品に注力

- 内視鏡レーザーアブレーションカテーテル
- 「HeartLight」 CardioFocus社製
- 2018/7より販売開始
  - 内視鏡で肺静脈を直視しながら焼灼
  - 多様な肺静脈形状へ適合

内視鏡レーザーアブレーションシステム
「HeartLight（ハートライト）」
上：カテーテル 右：コンソール

## 次世代品の導入を急ぐ

- 手技時間の大幅短縮が可能「X3」
- ’22/3期の上市を目指す

HeartLight X3

**競争力の高い次世代品の導入を控え、**
**内視鏡レーザーアブレーションの普及に努める**

# EP/ABL　自社新製品 ラインナップ拡充

Japan Lifeline

## IVC*アプローチ用
## BeeAT

Catheter for
Atrial Cardioversion System SHOCK AT
BeeAT
Via IVC approach

**2019/2 フルリリース**

## 左手用
## スティーラブルシース

Guidee
Leftee

**2019/7 上市予定**

*IVC: inferior vena cava (下大静脈)

# EP/ABL　自社新製品 IVC BeeAT

Catheter for
Atrial Cardioversion System SHOCK AT

BeeAT

Via IVC approach

従来品は足の付け根（鼠蹊部）の血管からの挿入ができなかった

↓

カーブの先端形状の変更により足の付け根からの挿入が可能となる

↓

異なるアプローチをとる医師も利用可能に

**他社の追随を許さないオンリーワン製品の拡充**

# EP/ABL　自社新製品 Guidee Leftee

Guidee
Leftee

**従来品は両手での操作が必要であり、**

**手技が煩雑であった**

**ハンドル形状を改良し片手で操作可能に**

**多用なニーズへ対応**

**他社にはないユーザーフレンドリーな製品改良**

# EP/ABL メッセージ

1. HeartLightによるAF治療市場でのシェア獲得

2. たゆまぬ改良/開発による自社製品の進化

# ③ 外科関連

取締役CV事業本部長
髙宮　徹

# 外科関連　中期見通し

1. 人工弁ビジネスは2019/5末で終了

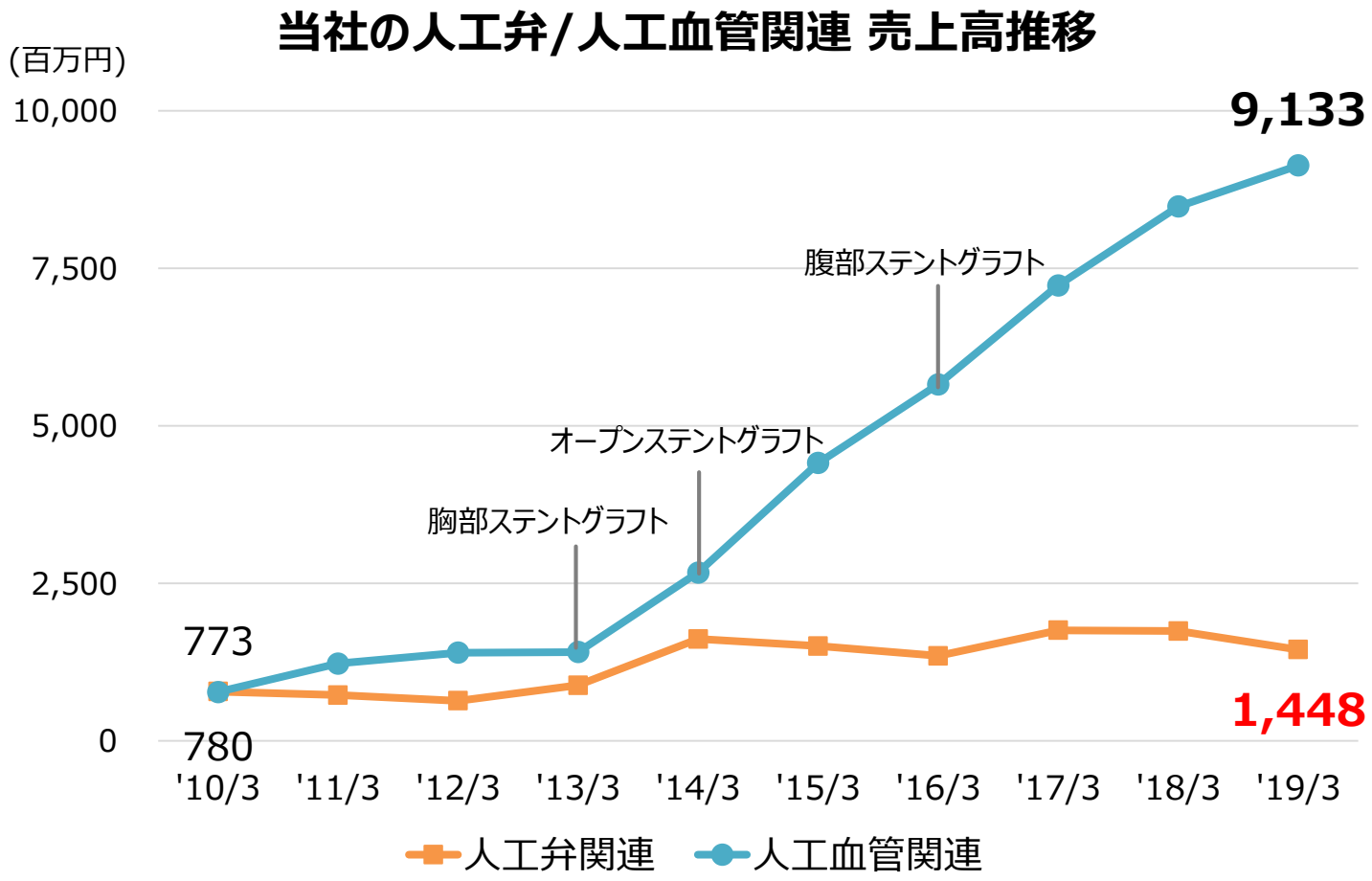
2. 大動脈治療領域へ経営資源を集中

3. 胸部用ステントグラフトの早期導入

# 外科関連　人工弁ビジネスの終了

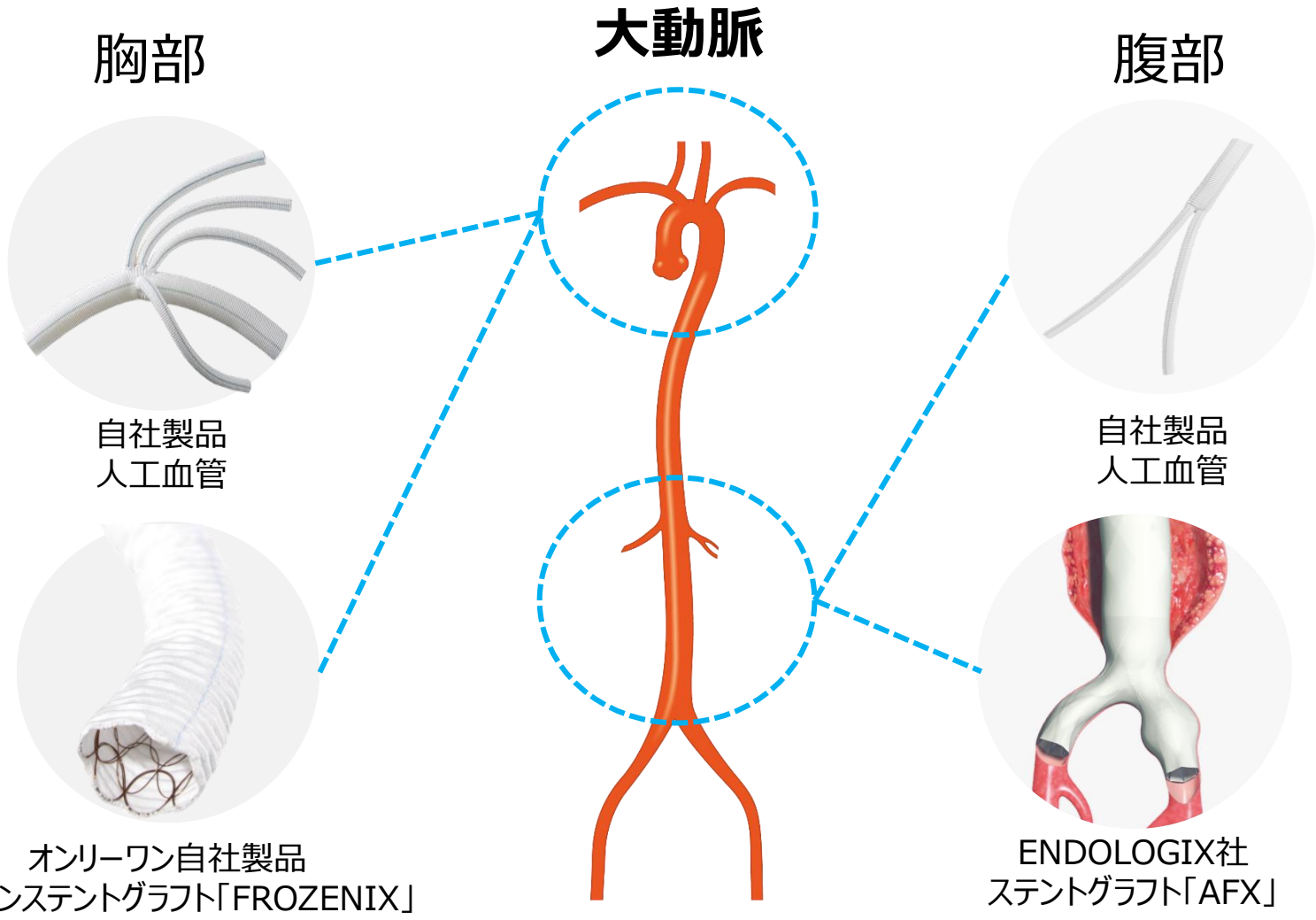
Japan Lifeline

## LivaNova社との契約満了に伴い人工弁ビジネスを終了




## 成長する人工血管関連ビジネスに集中

# 外科関連　大動脈治療領域




**この全ての商品ラインナップを持つのは当社のみ**

Japan Lifeline

# ALL in for AORTA

## 大動脈治療領域を全て網羅する唯一の企業

Japan Lifeline

# 胸部用ステントグラフト市場への再参入

- 分岐付き胸部用ステントグラフト「NEXUS」
- Endospan社製
- 手技の簡便化と合併症リスクの低減に期待
- 2024/3期の上市を目指す

分岐付き胸部用ステントグラフト
「NEXUS」

**豊富な実績を基に魅力ある製品を導入**

# 外科関連　メッセージ

Japan Lifeline

**大動脈治療領域の豊富なラインナップにより**
**引き続きトップシェアを目指す**

# ④ インターベンション

取締役CV事業本部長
髙宮　徹

# インターベンション　中期見通し

1. 薬剤溶出型冠動脈ステントの拡販

2. 虚血性心疾患の診断デバイス領域へ参入

3. 構造的心疾患領域の商品拡充

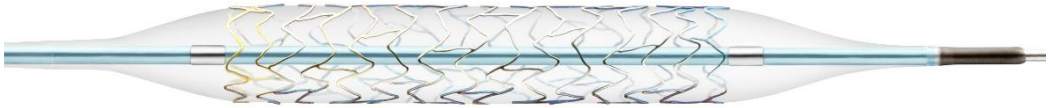
## 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」

- 世界最薄 (ステント厚60μm*)
- 販売開始1年で7%の市場シェアを獲得

*60μm: 3.00mm以下のステント径

## 臨床試験CASTLE Study*を開始（5月）

- 日本人患者のクリニカルエビデンスを構築（全国50施設以上）
- 長期的な臨床性能の非劣勢を検証



**薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro（オシロ）」**

*Randomized Comparison “All-Comers” Study of Ultra Thin-Strut and Thin Strut Drug-ELuting Stents

# インターベンション　診断デバイス領域

## PCI治療をサポートする診断デバイスを導入

- 血管内圧測定用センサ付ガイドワイヤ「OptoWire」
- 2018/10より販売開始
- 2018/4より適切なPCI治療実施のための検査が義務化*

※ 安定狭心症に対するPCI治療の保険算定要件に、機能的虚血の評価が加わる

**観血式血管内圧測定システム**
**上：「OptoMonitor」**
**下：「OptoWire」**

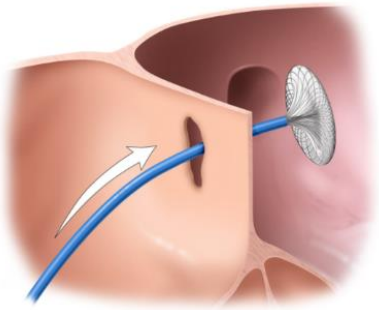
## 血管内画像撮像デバイスへの参入を計画

- IVUS*/OCT*ハイブリッドカテーテル「Novasight Hybrid」
- 2021/3期上期の上市を目指す
- 1本のカテーテルでIVUS/OCTの同時撮像が可能

*IVUS: Intravascular Ultrasound 血管内超音波検査
*OCT：Optical Coherence Temograghy 光干渉断層法

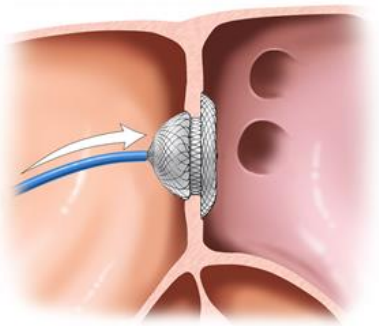
## 心房中隔欠損治療分野をリード

- 心房中隔欠損閉鎖デバイス「Figulla FlexⅡ」
- 2016/2販売開始、トップシェアを獲得



## 新たな医療機器の上市を目指す

- PLD (弁近傍逆流閉鎖デバイス)
- PFO (卵円孔開存閉鎖デバイス)
- VSD (心室中隔欠損閉鎖デバイス)



閉鎖イメージ

## 構造的心疾患領域の商品ラインナップを強化

# インターベンション　メッセージ

1. 薬剤溶出型冠動脈ステントの拡販

2. 構造的心疾患関連商品の早期拡充

Japan Lifeline

# ⑤ 開発生産部門

取締役開発生産本部長
山田　健二

# 開発生産部門　中期見通し

1. 中長期を見据えた開発・生産投資

2. 現場に寄り添った製品開発

# 開発生産部門　開発生産拠点

研究開発

## リサーチセンター（埼玉県戸田市）

中核工場

## 戸田ファクトリー（埼玉県戸田市）

量産対応

## 小山ファクトリー（栃木県小山市）

血管・OSGの開発・生産

## 市原ファクトリー（千葉県市原市）

海外工場①

## シンセン工場（中国シンセン市）

SynexMed

海外工場②

## マレーシア工場（マレーシアペナン州）

JLL Malaysia

**’20/1 稼働予定**

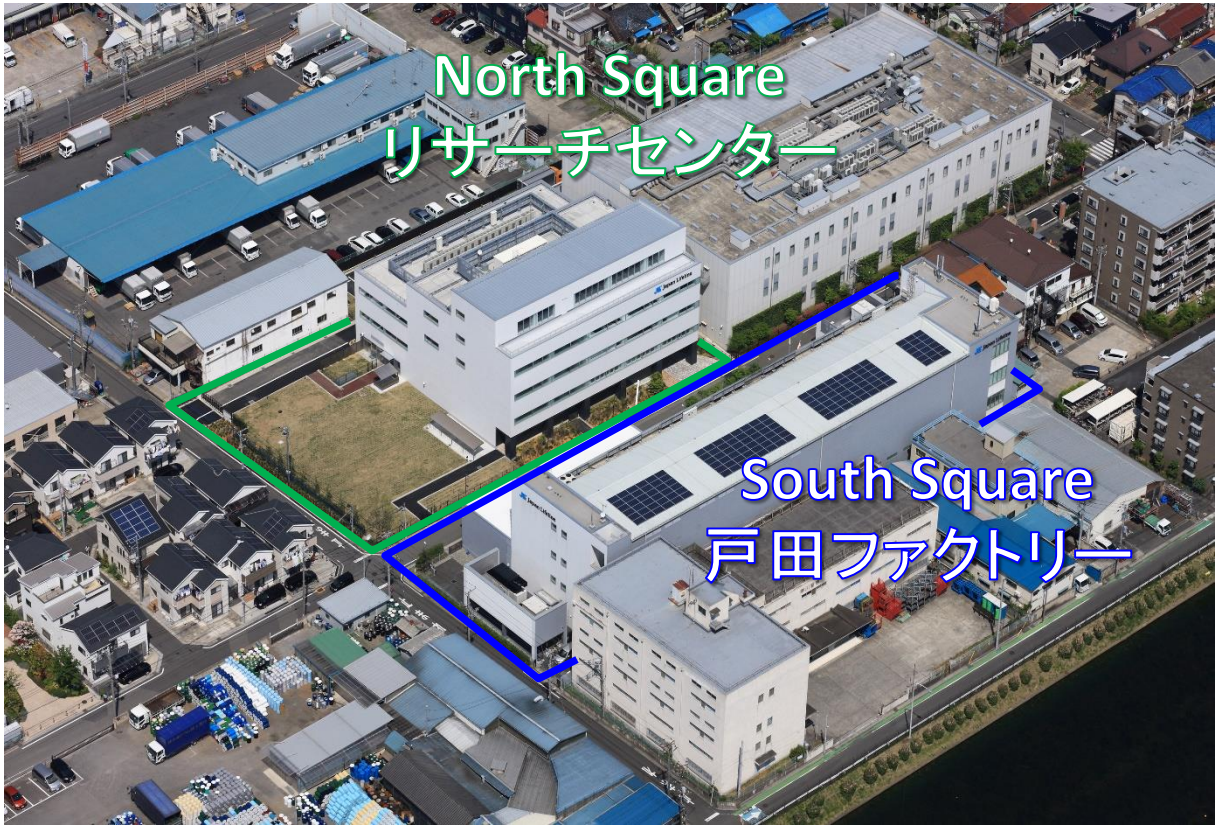
# 開発生産部門　Medical Technology Park概要

Japan Lifeline

■名　称：**M**edical **T**echnology **P**ark（通称：**MTP**）

■構　成：North Square（リサーチセンター）

South Square（戸田ファクトリー）



# 開発生産部門　研究開発拠点

Japan Lifeline

## North Square (リサーチセンター)

（2018/04～）

土　　地 ：3,655㎡
延　　床 ：4,590㎡ (5階建て)
所 在 地 ：埼玉県戸田市

**研究開発の基盤拠点**

# 開発生産部門　生産拠点

## South Square (戸田ファクトリー)

（2011/12～）

土　　地：2,917㎡
延　　床：5,802㎡ (4階建て)
所 在 地：埼玉県戸田市
製造品目：EPカテーテル、ABLカテーテル

**国内生産のマザーファクトリーとしての役割**

# 開発生産部門　生産拠点

## 小山ファクトリー
（2014/10～）

土　　地：22,504㎡
延　　床：4,414㎡ (2階建て)
所 在 地：栃木県小山市
製造品目：EPカテーテル、ABLカテーテル

**EP/アブレーション製品を中心に製造**

# 開発生産部門　生産拠点

## 小山ファクトリー 第2棟
**（2020/4～稼働予定）**

土　　地：22,504㎡
延　　床：5,903㎡ (2階建て)
所 在 地：栃木県小山市

<完成予想 CG>

# 開発生産部門　開発生産拠点

## 市原ファクトリー
（2010/12～）

土　　地：7,467㎡
延　　床：5,469㎡ (2階建て)
所 在 地：千葉県市原市
製造品目：人工血管、オープンステント
　　グラフト、血液浄化装置

**外科関連製品を中心に製造**

# 開発生産部門　生産拠点 (海外)

Japan Lifeline

## シンセン工場

**SynexMed (心宜医疗器械（深圳）有限公司)**
**（2010/10～）**

延　　床：3,256㎡ (2フロア)
所 在 地：中国深圳市
製造品目：バルーンカテーテル
　　ガイドワイヤー等

**インターベンション製品を中心に製造**

# 開発生産部門　生産拠点 (海外)

Japan Lifeline

## マレーシア新工場

**JLL Malaysia Sdn. Bhd.**
**（2020/1～稼働予定）**

土　　地：16,000㎡
延　　床：9,124㎡ (3階建て)
所 在 地：マレーシア ペナン州
製造品目：EPカテーテル等 (予定)

＜現在の進捗＞

＜完成予想 CG＞

**海外におけるマザーファクトリーとしての役割を目指す**

# 開発生産部門　現場に寄り添った製品開発

Japan Lifeline

医療現場

ニーズが
生まれる

全国営業拠点
本社マーケティング部門

ニーズを収集
アイデアを練る

戸田ファクトリー
[製造部門]

製品を
量産化する

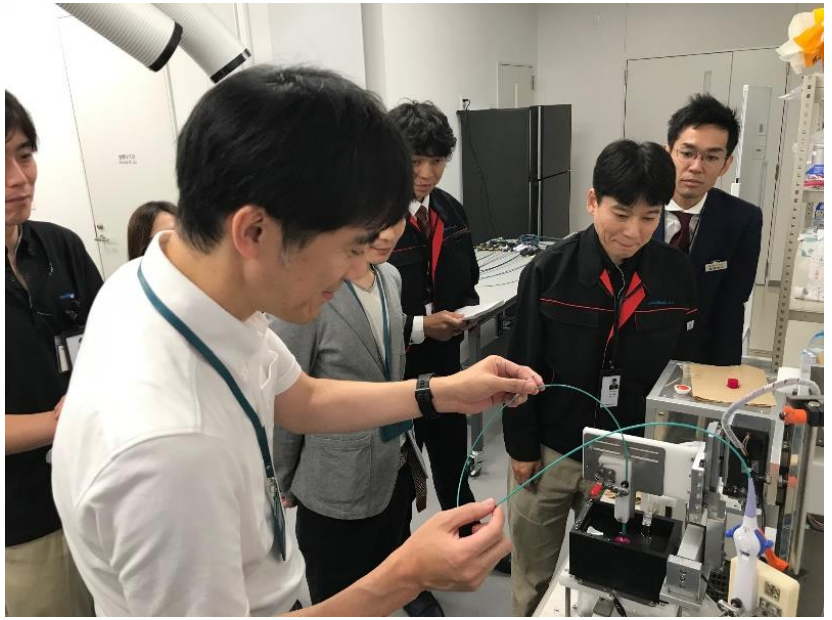
リサーチセンター
[研究・開発部門]

アイデアを
デザインする

# 新製品の開発に向け情報を収集する

## KOL*による講演

## 試作品を用いた製品評価



# レクチャー・実験など意見交換の場を設ける

*KOL: Key Opinion Leader（影響力のあるドクター）

# 開発生産部門　メッセージ

1. 自社製品の品質及び納期面での安定供給

2. 新規性の高い医療機器の開発

3. 海外展開（製造･販売）への取り組み

# 3. 中期計画

代表取締役副社長
鈴木 厚宏

# 当社の成長基盤

＋

医療機器の早期導入を支える薬事戦略

全国を網羅する営業ネットワーク

**規模拡大と収益性確保を両立**

**高水準での成長を目指す**

# 前提条件

## 当社中計はローリング方式を採用

- 計画値には上市時期が特定されていない商品/製品は含まない
- 販売契約、開発、治験等の最新の状況を踏まえ更新
- 保険償還価格の想定

  2019/10：消費税改定に伴う改定

  2020、2021*、2022、2023の各年4月に改定を見込む

  (*2021年からの毎年改定を予想)

## 事業環境の変化へ迅速に対応

# 中期経営計画　業績目標

Japan Lifeline

## ＜昨年計画＞
2018/5/29公表

2023/3期

連結売上高
**777億円**

営業利益率
**25%**

## ＜本年計画＞
2019/5/22公表

2024/3期

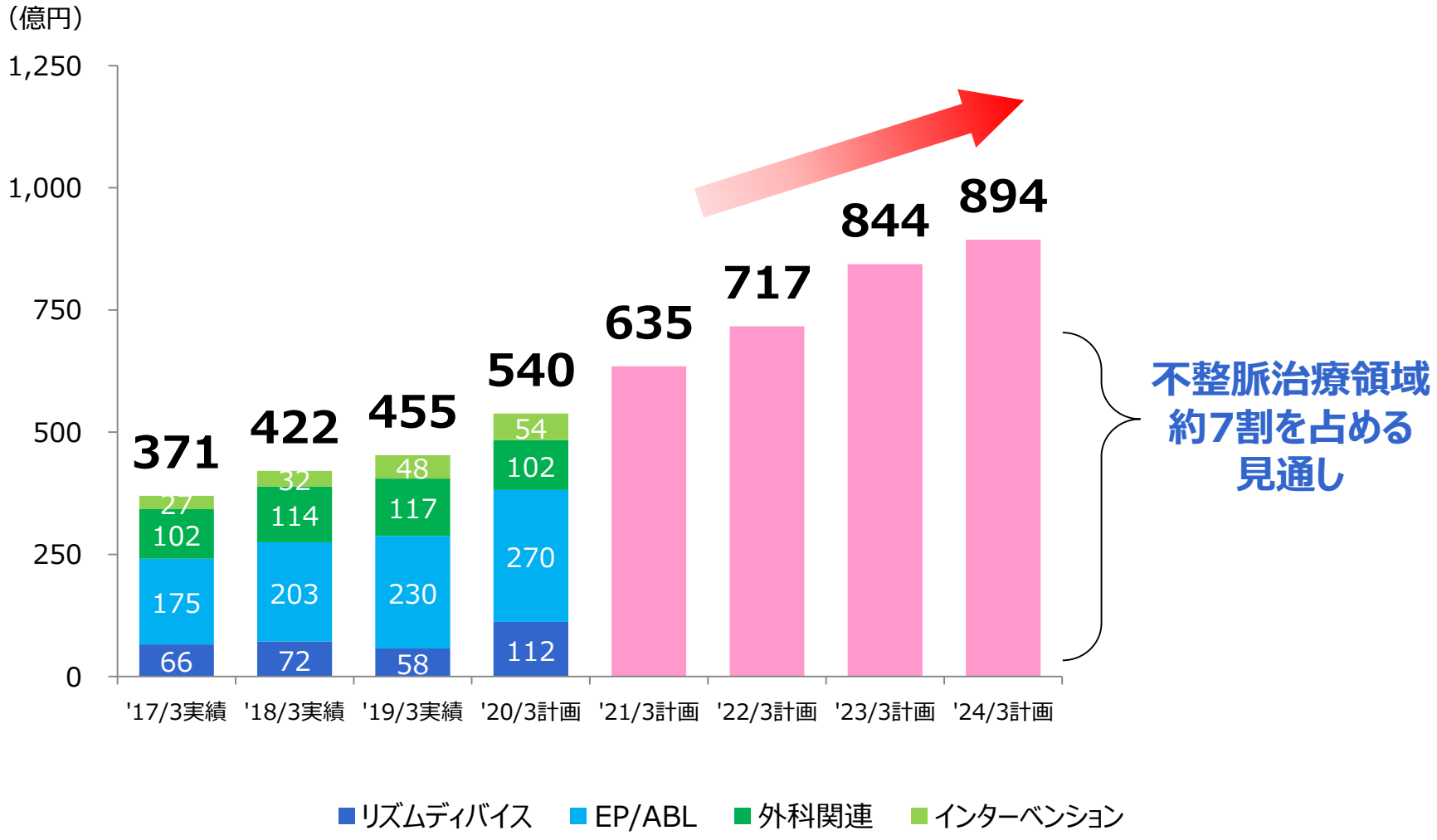
連結売上高
**894億円**

営業利益率
**23%**

# 中期経営計画　売上高推移

Japan Lifeline

## 不整脈治療領域が成長の確かな土台となる



# 中期経営計画　見通し・課題

1. 不整脈治療領域の伸長を図る

2. 循環器以外の新領域を開拓する

3. 自社製品の海外展開へ取り組む

# 見通し・課題１　不整脈治療領域の伸長

Japan Lifeline

**リズムディバイス**

高い競争力を持つ

BSC社製品

**EP/ABL**

オンリーワン製品をはじめとする

優れた商品群

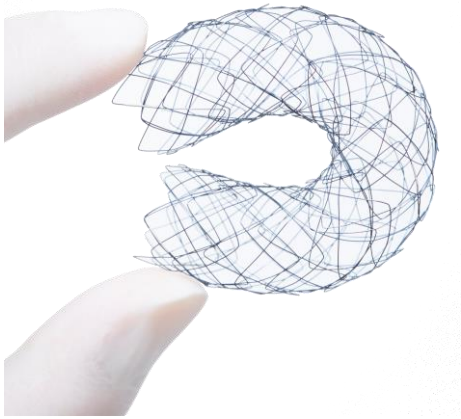
**不整脈に特化した国内随一の営業部隊を通じて**
**市場での存在感をさらに高める**

# 消化器治療分野への参入

- **唯一の国産 大腸ステント**

  →オープンステントグラフトの

  　ステント編み込み技術を応用



大腸ステント「JENTLY」

- **肝がん治療用ラジオ波焼灼システム**

  →長年培ってきたアブレーション技術を生かす

「arfa」

**独自技術を武器に**
**他領域への横展開を図る**

# 見通し・課題３　自社製品の海外展開

Japan Lifeline

## 海外販売への取り組みを継続

- **アジア**

  →2019年4月韓国事務所を開設、BeeAT薬事承認取得済み

- **欧州**

  →オープンステントグラフト　CEマーク取得に向けた取り組み

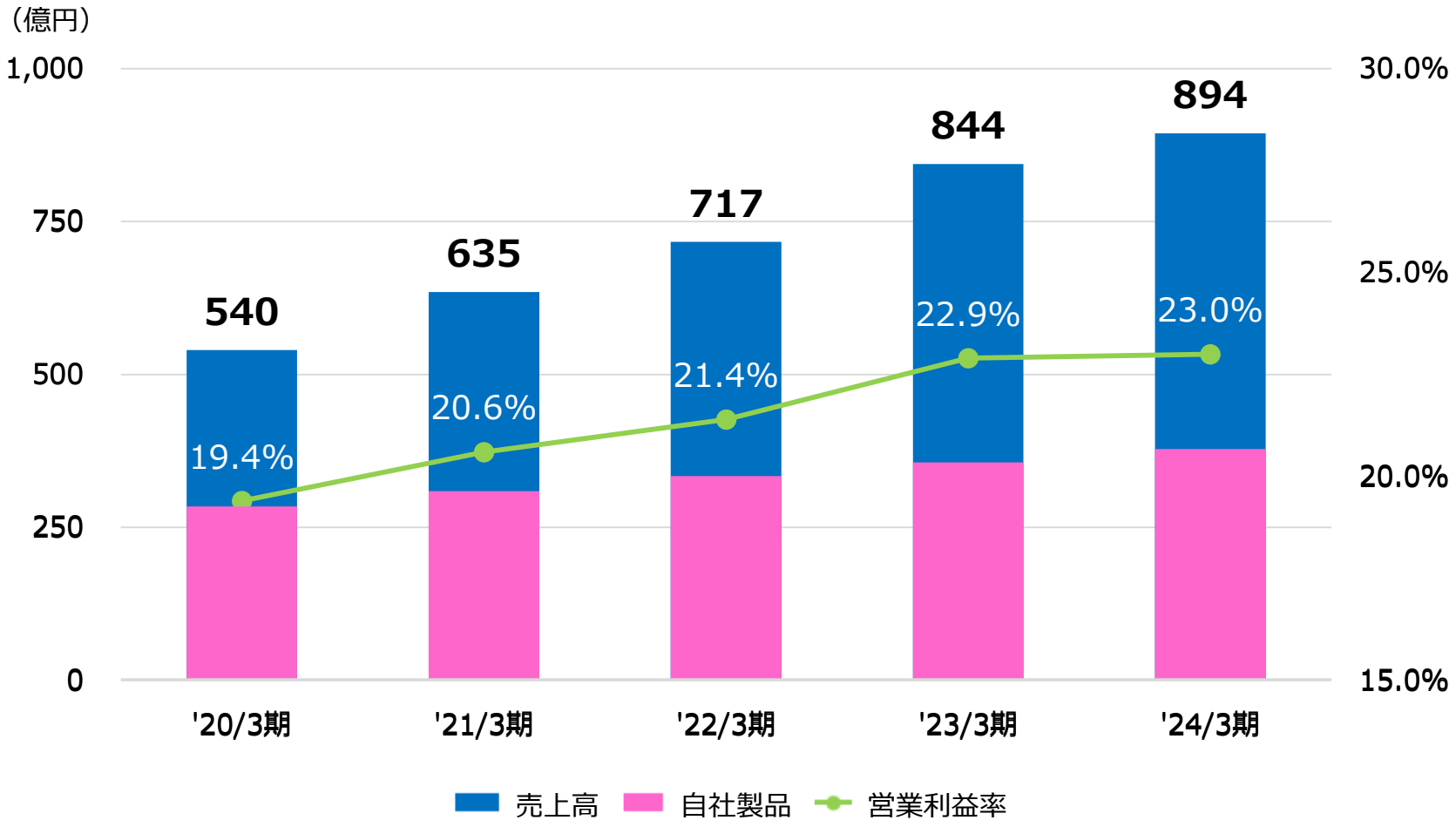
- **北米**

  →EPカテーテル　半完成品の輸出による北米進出への準備中 (一部のモデル)

**積極展開に向けた突破口を探る**

# 中期経営計画　業績推移

## 事業規模の拡大により、営業利益率の改善を見込む



# 不整脈治療領域の基盤強化

## '24/3期

## 売上高894億円　営業利益率23%

新たな仕入商品による規模拡大

自社製品の着実な成長

ご清聴頂きありがとうございました

…for patient comfort.

Japan Lifeline

# ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、当社の将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品の導入に関係する、治験および薬事承認に係る事項、また発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

**本資料に関するお問い合わせ先**

日本ライフライン株式会社
経営戦略部
TEL:03-6711-5214
E-Mail:ir@jll.co.jp
URL:http://www.jll.co.jp